

外国語学研究科 日本語文化学専攻（博士課程後期課程）

2023 年 2 月 17 日

科目名	受験番号：	採点欄
日本語	氏名：	

【問題】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

世界の人口が昨年 1 1 月に国連の推計（ a ） 8 0 億人を超えた。

人間は文明の発達 **ア** ①養える人口を増やしてきた。技術が進歩して食糧（ b ）増産し、利用できる土地や資源も広がった。農業や産業革命といった大きな②技術革新（ c ）急速に増えてきた。

今後、人間が必要とする物資を③効率的に得る④飛躍的な技術革新が起きたり、人口が減少して食糧やエネルギーを分かち合ったりして暮らしていけば、明るい未来を描けそうだ、といった⑤楽観論もあるかもしれない。

半面、地球が生産できる生物資源も、利用できる地下資源も⑥無限ではない。

いま、地球は、どれくらいの人口を⑦抱えられるのだろうか。

■地球の力

人間が地球環境（ d ）どれだけの⑧負荷を与えているかを知るひとつの⑨指標がある。「エコロジカル・フットプリント」という。「生態系を⑩踏みつけている足跡」という意味で、カナダの学者らが⑪提唱した。

人間の生活や経済活動 **イ** 農地や森林などの⑫陸地や、⑬漁場となる海をどれだけ使っているかを示す。統計データなど **ウ**、食糧や衣類の生産、⑭廃棄物の分解や⑮化石燃料の活用で排出された二酸化炭素を吸収するのに必要な土地なども計算に [A]。地球が 1 年間でまかなえる量（ e ）人間が生活をしているかが、推定できる。

国際組織「グローバル・フットプリント・ネットワーク」 **エ**、世界人口が 3 0 億人⑯余りだった 1 9 6 1 年には人間は地球 0・7 個分の生活だったが、7 1 年に 1 個分を超え、いまは 1・8 個分の暮らしだ。

もし、世界中の人々が日本と同じ暮らしをしたら、地球が 2・9 個必要になる。米国と同じなら 5・1 個、中国なら 2・4 個、インドなら 0・8 個だ。

裕福な生活ほど、1 人あたりの消費は増える。同じ距離の移動でも、飛行機は鉄道や船より大量の燃料を使い、牛肉や豚肉は⑰穀物よりも生産段階で多くの資源（ f ）必要だ。もちろん⑱絶対的な指標ではないが、⑲豊かで⑳便利な生活は、それだけ未来に負荷をかけているさまが [B]。

■高まる危機感

昨年末開かれた生物多様性条約締約国会議（COP15）は、2030 年までに地球の 30% を保全する「30 by 30」など、生態系を守る新目標で合意した。高い【 I 】だが、危機感を世界が共有するあらわれでもある。化石燃料の消費やそれを⑳原因とする気候変動も、地球に大きく負荷をかける。食糧生産 **オ** 森林を切り開いて農地を増やすのも同様だ。

地球は 4 6 億年の歴史（ g ） 5 回の大量絶滅を経験してきた。現在は、6 5 0 0 万年前に㉑恐竜などが絶滅した時代（ h ）続く第 6 の大量絶滅時代と呼ばれ、当時よりも急速に生物種（ i ）減っている。約 8 0 0 万種いるとされる動植物のうち約 1 0 0 万種が絶滅の危機（ j ）直面し、絶滅の㉒勢いは、過去 1 千万年間の平均の数十倍から数百倍も早まっている。人間による破壊力はすさまじい。

■循環型社会にむけて

自然の破壊が一定の㉓境界を越えると回復不可能となり、人類が㉔繁栄を続けることができない。「プラネタリー・バウンダリー」（地球の限界）という考え方では、人間が地球の機能に変化を引き起こす九つの要素を特定して、越えてはいけない境界を示している。

すでに「生物多様性」「窒素とリンの循環」「気候変動」「土地利用の変化」で【 II 】が顕在化して、人間が安全に活動していく範囲を超えていると分析される。窒素やリンは㉕肥料 **カ** 食糧生産を支えるが、㉖過剰だと川や海の汚染を [C]。

地球の人口は 2 0 5 0 年代に 1 0 0 億人を超え、2 0 8 0 年代に 1 0 4 億人でピークを [D] と推定されている。その先、減少を続けて安定的な人口になっていくとしても、それまで、生活を支える地球の限界を人類は超えずに [E] のだろうか。

国を超える共通課題（ k ）一つひとつ取り組み、社会のあり方を考え直すことが求められる。循環型の社会づくりは、地球のためでも自然のためでもなく、人間の未来のためだ。

8 0 億人突破 **キ**、地球の現状と生活を見つめ直し、㉗子孫に何を残せるか考えていきたい。

（『朝日新聞（社説）』『人口 8 0 億人 地球の限界を考える』2023 年 1 月 10 日）

(1) 次の①から⑳の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。(1×20=20)

①養える ②技術革新 ③効率 ④飛躍 ⑤抱え ⑥負荷 ⑦指標 ⑧踏み ⑨提唱 ⑩陸地
⑪漁場 ⑫廃棄物 ⑬化石燃料 ⑭余り ⑮穀物 ⑯恐竜 ⑰勢い ⑱境界 ⑲繁栄 ⑳肥料

(2) a から k の () のなかに適当な格助詞(「が」「を」「に」「へ」「で」など)を入れなさい(格助詞以外の「も」「は」などは使えません)。(1×11=11)

(3) アからキの のなかに入るもっとも適当なことばを次のなかから選んで入れなさい。それぞれ1回しか使えません。(2×7=14)

によって として を元に とともに のために を機に によると

(4) A から E の [] のなかに入るもっとも適当なことばを次のなかから選んで入れなさい。それぞれ1回しか使えません。(2×5=10)

[すむ 招く 浮かぶ 入れる 迎える]

(5) 次の㊦から㊬の単語の対義語(反対語)を書きなさい。(2×8=16)

㊦楽観論 ㊧無限 ㊨絶対的な ㊩豊か ㊪便利 ㊫原因 ㊬過剰 ㊭子孫

(6) I と II の 【 】 のなかに入るもっとも適当なことばを次のなかから選んで入れなさい。(2×2=4)

I 【 コスト ゴール ハードル ルール 】

II 【 アクシデント リスク テーマ トラブル 】

(7) 「循環型社会にむけて」、あなたの国で必要だと考えることを書きなさい。(400～500字程度)。(25)